



# 盛岡のお盆行事

なたやちよう  
鉦屋町界隈

**8.14** 火  
19:00~20:15  
(18:45~20:30歩行者用道路)

町家のお盆行事  
14、15日 迎え火  
16日 送り火

## 黒川さんさ踊りの門付け

盛岡市内では昔から絶えることなく先祖のお迎へお送り行事「迎え火・送り火」が行われてきました。特に鉦屋町界隈では、夕方暗くなると、「樺火」が町内で一斉に焚かれる風景を見ることができます。  
8月14日には、近年途絶えた伝統さんさ踊りの門付けが、今年も黒川参差踊連中の皆さんによって復活します。



# 舟っこ流し花火大会

盛岡市指定無形民俗文化財

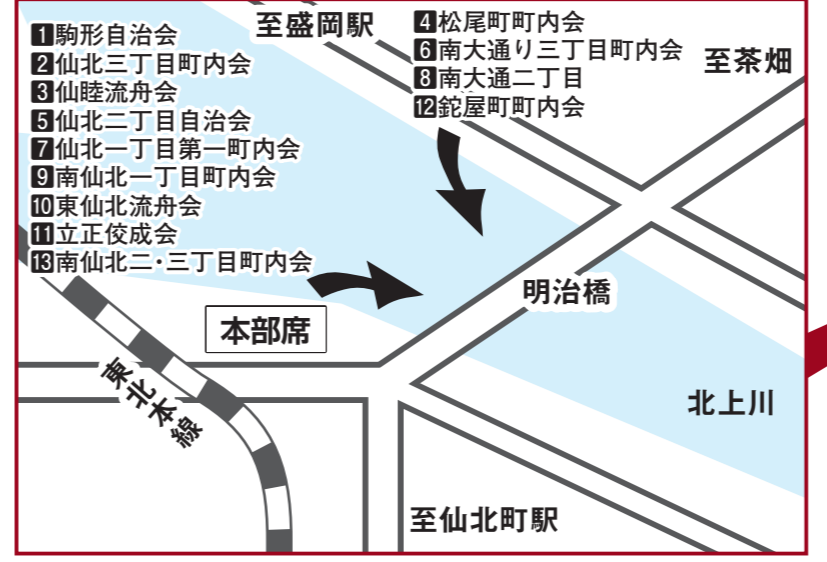
盛岡名物

がんばろう！岩手  
がんばろう！東北

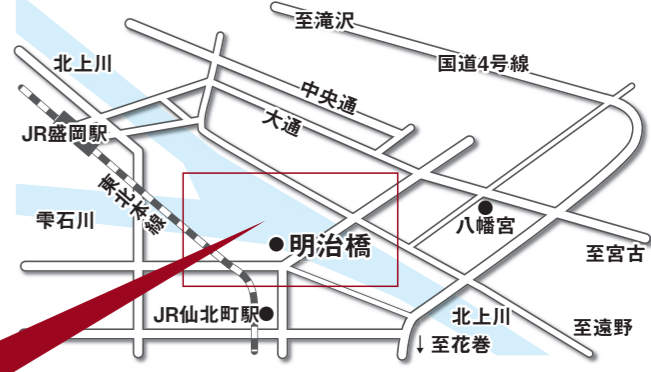
写真：平野吉孚

平成24年 **8.16** 木 明治橋両岸  
岩手県盛岡市仙北1丁目

※8.16が中止の場合、8.18に順延。8.18が中止の場合、8.19に順延(ホームページに掲載)



◎交通アクセス  
バス 盛岡駅前13番乗り場から乗車、会場そばの仙北町バス停下車(所要15分~)  
JR東日本 仙北町駅から徒歩7分(540m)  
※駐車場はありませんので公共交通をご利用ください ※会場は仮設トイレを設置  
※堤防が階段状になっておりますので観覧できますが、席に限りがあります。



お問い合わせ先  
盛岡舟っこ流し協賛会 佐藤 修  
電話. 070-5621-6210  
<http://moriokafunekkonagashi.com/>  
主催/盛岡舟っこ流し協賛会  
協賛/盛岡市 財団法人盛岡観光コンベンション協会



日程	舟っこ集合	16:00
	式典ならびに法要	16:30
	流舟	17:30～18:30
	灯籠流し 明治橋上流右岸(仙北町側)	17:30～18:30
	投げ松明	18:30
	灯ろう流し	18:30
花火大会 (3,000発)	19:00～19:40	



投げ松明

〈舟っこ流し〉 町内会が中心となって子供会なども協力して舟を作ります。舟は竜の形をしているものが多いです。お札や遺影を貼り、提灯や供物などで飾りたてます。

舟は明治橋上流に集められ、儀式的あと有志がひいて一艘ずつ川へ流され、火をつけます。燃えながら流れる舟は明治橋で燃えつきます。

舟っこ流しの始まりは、今からおよそ280年ほど前、盛岡藩四代藩主、南部行信の七女 麻久子姫が川施餓鬼(かわせがき)の大法事を行ったものとされています。

1815年に津志田遊郭の遊女たちが乗った舟が氾濫した北上川で転覆し、溺れ死んだ霊を慰めるため、舟に位牌と供物を乗せて流すようになり、以後盛んに行われるようになりました。

今では祖先の霊を送り、無病息災を祈る行事となっています。

〈投げ松明〉 盛岡舟っこ流し行事の一つとして「投げ松明(なげたいまつ)」があります。「蜂の巣」と呼ばれる麦わらであんだ籠を載せた、高さ8mもある竿を川原に立てます。舟っこ流しを終えた日没になると、手に松明をもって集まった子供達が、投げ入れの合図とともに点火した松明を片手でクルクルと回し、頭上の蜂の巣目がけて投げ合うのが投げ松明です。

うまく松明が命中すると、蜂の巣が天空で火の塊となって燃え上がります。燃えつきたあと竿を揺さぶると、あたかもクス玉を割ったように火の粉が折からの風によって飛び散っていく様はまことに見事であります。

もともとは山梨県南部町が由来とされていますが、盛岡城築城400年記念として盛岡でも行われることになった祭りです。舟っこ流しがおわり、花火大会までの間に行われます。

## 盛岡舟っこ流し・参加者募集

お盆の風物詩である盛岡舟っこ流しが今年も8月16日(木)に行われます。280年の伝統行事で盛岡市の無形民俗文化財に指定されています。復興元年を祈念する祭りとして、沿岸被災地からご戒名を受け付けしながらご供養も行います。盛岡舟っこ流し協賛会では、舟っこの担ぎ手を募集致します。実際に、北上川に入って頂きますので、泳ぎの出来る方に限らせて頂きます。

【募集内容】  
舟っこの担ぎ手  
対象：高校生以上の男女

【申込方法】  
往復はがきに名前・住所・勤務先(または学校名・学年)・電話番号を記入して以下の宛先までお申込み下さい。

〒020-0863 盛岡市南仙北3丁目17-15  
盛岡舟っこ流し協賛会 佐藤 宛 (電話070-5621-6210)

※ 申込みはハガキ1枚につき二名まで出来ます。 ※ 申込みの締め切りは8月5日必着です。

## 〈特別協賛金のお願いについて〉

盛岡の夏をしめくくる送り盆の行事である舟っこ流しは、280年の歴史を持つ南部盛岡の伝統行事でございます。この行事は、これまでも多くの皆様のご協賛により伝統行事が継承され維持されております。今年も、市民参加型の行事として、この舟っこ流しを厳粛に行ってまいります。昨年の震災においては、ご供養をさせていただきましたが、今年も復興元年を祈念して引き続きご供養を行ってまいります。

伝統行事の発展のために、皆様におかれましては趣旨をご理解の上、ご協賛を賜りますようお願い申し上げます。

【振込先】  
岩手銀行 仙北町支店 普通口座0054315  
口座名 盛岡舟っこ流し協賛会 会長 佐藤 修

## 平成24年度盛岡舟っこ流し実施順序表

代表者名/製作・展示場所

1 駒形自治会  
吉田一夫/駒形公民館



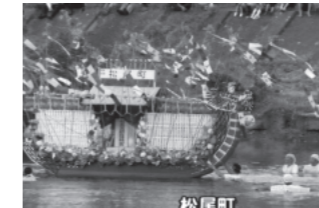
3 仙陸流舟会  
川村豊造/盛岡信用金庫仙北町支店斜め前



7 仙北一丁目第一町内会  
吉田隆夫/仙北一丁目(線路を挟んで駒形神社)



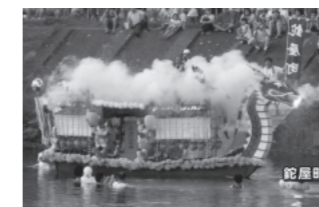
11 立正佼成会  
吉田正徳/立正佼成会内



4 松尾町町内会  
海野伸/盛岡畜産会館脇



8 南大通二丁目  
岡田誠三/臨済宗長松院境内



12 鉦屋町町内会  
大坊公二/大慈寺山門脇



5 仙北二丁目自治会  
中村直兄/曹洞宗長松寺境内



9 南仙北一丁目町内会  
亀ヶ森英公/昭和モータース



13 南仙北二・三丁目町内会  
佐藤誠一/小鷹公民館



2 仙北三丁目町内会  
福島昭司/仙北三丁目公民館



6 南大通三丁目町内会  
千葉久子/浄土宗円光寺境内



10 東仙北流舟会  
武藤俊貴/東仙北一丁目公民館

## ご先祖・物故者の供養

盛岡の送り盆の行事である舟っこ流しは、この一年の物故者の供養、そして先祖代々の供養を行う行事です。事前に戒名を頂ければ、当日舟っこ流しにてご供養致します。戒名の受付は各町内・団体の舟っこに直接お申込みなさるか、盛岡舟っこ流し協賛会事務局までご連絡下さい。お申込みの際は寸志をお納め下さるようお願い致します。

## ～ 東日本大震災でお亡くなりになった方の戒名を無料で受付しております ～

昨年の3.11東日本大震災と津波被害においては、岩手県内の死者・行方不明者が6,000名あまり、全国でみると20,000人の死者・行方不明者が発生しました。謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災地の日も早い復旧と復興を心よりお祈り致します。盛岡舟っこ流し協賛会では、3,000名を超える被災者が盛岡

に避難または新生活を送っていることに際しまして、少しでもご供養が出来ることを祈念し、昨年度の舟っこ流しで500名を超える方のご供養をさせていただきました。今年も引き続き東日本大震災犠牲者の霊をご供養させていただきます。ご戒名もしくは物故者名を事務局で受付しております。送り盆の行事ですので、ご遠慮なくお申し出下さいませ。

## ご戒名ははっきり正しく間違いのないようにご記入下さい

申込書	ご戒名	氏名
	御霊に対する想い	ご住所
		電話番号

※ご記入いただきました個人情報につきましては、十分に注意を払って管理し、本目的に限って使用させていただきます

FAX申込書 ↓ FAX 019-635-9176 (E-mail) aap09710@hkg.odn.ne.jp